

基本方針 市民の皆様が暮らしやすくお出かけしたくなるまちづくりに貢献できる「公共交通」の実現

<公共交通体系の基本方針>

まちづくりの観点からの路線再編の基本方針

- 「松江市都市マスタープラン(2018-2027)」市域全体を対象に公共交通をまちの骨格と位置づけ、現行の公共交通網の維持を基本方針とする

- 本市総合計画に掲げる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成にあたり重要となる「幹線路線」（周辺部と中心市街地を結ぶ「放射路線」及び市中心部を運行する「循環系統」）の維持を図る

市民生活の充実を通じた公共交通で
暮らしやすい未来の実現

- 通学・通院・買い物・出勤などの移動ニーズに応える
おでかけ需要の喚起につながるまちづくりと公共交通

松江市が目指す「将来のまちのかたち」

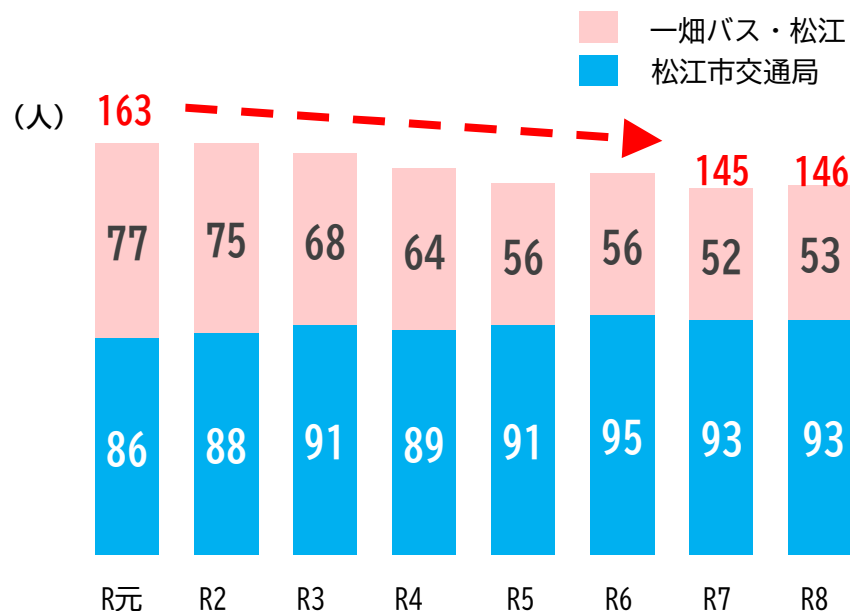
松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」では、将来にわたって生活に必要なサービスを維持し、市全体を持続可能なまちとするため、市街地や集落などの既存コミュニティを交通などでむすぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成と「中心市街地の再生」を両輪とした「市域内のバランスのとれた発展」を目指す



松江市の公共交通を取り巻く状況

■ 路線バスの運転士数(R8速報値)

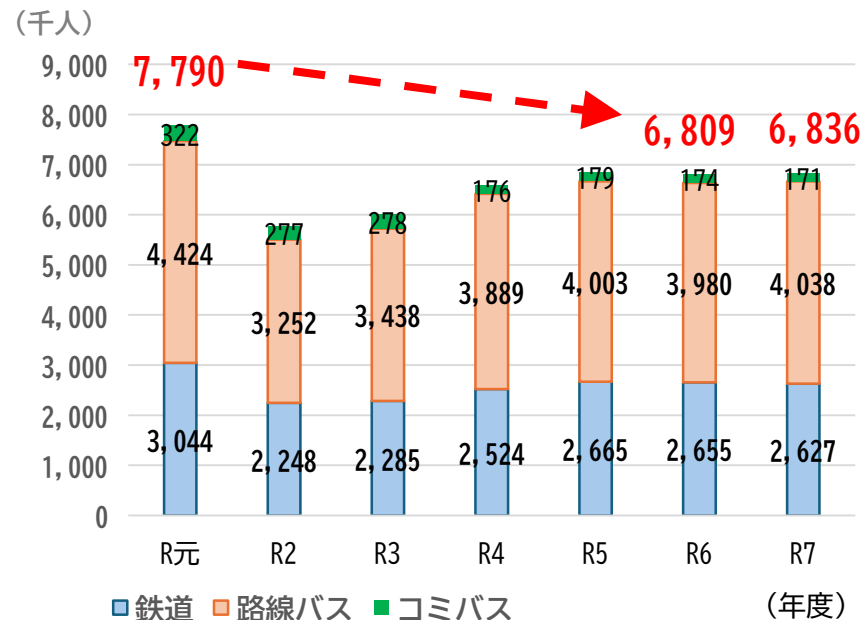
近年は横ばい傾向



※各年度末、令和7・8年度は4月1日時点

■ 鉄道・バス利用者数(R7速報値)

令和7年度は前年比2万7千人増となった



市民会議と各団体との連携による人材確保&利用促進 (一部)

バス運転体験会 & バス・タクシー就業フェア 令和7年11月23日



バス停の美化活動 令和7年12月6日

(連合島根東部
地域協議会)



島根スサノオマジック

ホームゲームに合わせた公共交通
利用促進



「目指すべき公共交通の姿」の実現に向けて

AIデマンドバスを導入 (令和5年4月3日～)

- ・郊外の交通空白解消
- ・コミュニティバスの運行効率化

全国初！

現在4地区で
運行中

鳥取・島根の
県境をまたぐ
広域運行



市営バスと一畑バスの共同運行開始 (令和8年4月1日～)

- ・運転士と車両の効率的な運用
- ・運賃改定による収益性向上

令和8年3月17日、国土交通省より独占
禁止法特例法に基づく認可を取得

「路線」「ダイヤ」
「運賃」を一括・網
羅した共同経営計画



全国唯一！

日本版ライドシェア実施 (令和7年2月～)

- ・交通空白時間帯の解消

許可事業者：4社(令和8年3月時点)
ドライバー雇用：8名

運行時間：平日・8:00～12:00

高齢者の通院
ニーズに対応



利便増進事業 乗継拠点の充実化

多様なモビリティへの連携
強化・乗継推進



シェアサイクル「ラフチャリ」



バス停機能向上

路線バスの自動運転技術実装 運転士不足への対応

中心市街地で2027年度中の
自動運転実装をめざす

捻出した運転手を中心市
街地と郊外部を
つなぐ幹線へ再配分
強靱なバス路線網の構築



自動運転バス

JR松江駅 ターミナル機能向上

JR松江駅ターミナル再整備

交通案内の充実
と安全対策



持続可能な交通ネットワークを形成

VI どだいづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

DX・GXによる持続可能な公共交通の基盤構築



新

～自動運転実証事業費～
（総合交通体系推進事業費）

事業費：2億5,013万円、財源：国2億円

令和7年度に続き実証実験に取り組み、検証を重ねながら早期の本格運行を目指す。

● 自動運転バス導入のねらい

1 公共交通の維持

- ・ 自動運転による省人化
- ・ 捻出した運転士を郊外部路線に再配置し全体充実化を図る

2 おでかけ需要の創出

- ・ 国宝松江城等を経由することで、観光需要にも対応
- ・ 中心市街地の周遊を促進

3 まちの魅力向上

- ・ DX・GXの観点から、先駆的な取り組みにチャレンジするまち

● 事業内容

- ・ 自動運転実証実験に係る委託費：2億5,000万円
- ・ 先進地視察に係る旅費：13万円



令和7年度試乗会の様子（2025.10～12）

総務省 令和7年度地域社会DX推進パッケージ事業（自動運転レベル4検証タイプ）のモデル地域に選定

● バス走行ルート（予定）

4.3km／周回



● ロードマップ

令和8年度【実証】

- ・ 自動運転レベル4認可に向けた走行データの取得
- ・ 試乗会の開催（利用者ニーズの把握）

令和9年度【レベル4認可取得】

- ・ 1路線で自動運転レベル4認可取得を目指す

本格運行

【自動運転レベル4】
道路交通法が定める特定自動運行を指し、運転者がいない状態での自動運転